

シルバー やまがた

第160号 令和7年10月1日発行 (公社)山形市シルバー人材センター
正会員数1,228名 賛助会員 28個人・58団体(8月末現在)



「もみじ公園」撮影 広報部 小林好一さん

— 内容紹介 —

- | | | | |
|----|-------------------------------|------|-----------------------------------|
| P2 | 令和7年度 安全就業標語入選作発表
安全講習会を開催 | P5 | 令和7年度全シ協「安全就業シ
ルバー人材センター優秀賞」受賞 |
| P3 | 新任役員のご紹介 | P6~7 | 会員のひろば |
| P4 | 安全パトロールを実施
事業普及啓発促進月間 | P8~9 | わが街通信 |
| P5 | 全シ協理事・東北シ連協会長・県連
合会会長へ就任 | P9 | 新入会員紹介 |
| | | P10 | 事務局からのお知らせ |

令和7年度 安全就業標語入選作発表

安全就業標語入選作

最優秀 慣れた作業 ルール順守で 事故はなし
優秀 全員で 目指す事故ゼロ 危険予知
 気を抜くな 油断の先に 危険あり
佳作 事故ゼロで みんなの笑顔 いつまでも
 これくらい 大丈夫だという心に 落とし穴
 安全就業 心のゆとりと 下準備
 熱中症は 水分塩分 休息を
 事故「0」は 各自の意識が 第一歩
 シルバーの 生きがいを守る 安全就業

(西地区) 樋口 健一
 (第四地区) 冨塚 育夫
 (金井地区) 武田 貴行
 (第二地区) 大沼美智子
 (第三地区) 志鎌 一夫
 (第六地区) 伊東 義雄
 (飯塚・樫沢地区) 佐藤 勝雄
 (金井地区) 古川 譲
 (南山形・本沢地区) 塩野美智子



安全標語受賞者の皆さん

〈講演要旨〉

- 熱中症とは、熱により体温を超えた暑い環境で起きる障害
- 症状 「暑熱環境に晒された」という条件が明らかで、めまい、大量の発汗、嘔吐、こむら返り、倦怠感などが出たとき
- 予防策 熱中症は生命にかかわる病気しかし、予防策を知っていれば防げるもの
 - ・服装 日傘、帽子、涼しい服装
 - ・水分 喉が渇いた時、渇く前、暑いところに出る前からこまめに水分を補給する。
 - ・環境 屋外では日陰、屋内ではエアコンなど効いた涼しい場所へ、こまめに休憩、暑いときには無理をしない。
- 手当
 - ・できるだけ早く風通しの良い日陰や冷房が効いている室内などに避難
 - ・病人本人の楽な体位
 - ・厚い衣服は脱がせ、身体から熱を放散
 - ・意識あるときや嘔吐などが無い時は、水分補給
 - ・胸や腹の身体の表面に水をかけたりして身体の冷却をできるだけ早く行う。
 ただし、意識障害、けいれん、手足の運動障害、高体温の症状があればすぐ119番

※最後に、熱中症は気温が低くても湿度が高い場合は同様の症状が見られる場合があるとのことですので、注意してください。

安全講習会を開催しました

安全就業推進委員会 委員長 高橋 眞一

八月一日、山形テルサにおいて、令和七年度の標語入選発表と表彰式及び安全講習会が行われ、九九名の参加がありました。

例年七月に展開される「全国安全・適正就業強化月間」に合わせ、今年度も会員の皆様の安全意識高揚を目的に、安全標語の募集を行いました。

今年度は、五一名の方から合計一三七編の応募をいただき、誠にありがとうございました。厳正なる審査の結果、上記九名の標語を入選作品として選考し、受賞者の皆様へ表彰状を贈呈いたしました。上記入選作品に次点

の作品一六編を追加した、合計二五編を山形県シルバー人材センター連合会への推薦作品とさせていただきます。

表彰終了後、引き続き安全講習会を開催いたしました。今年度の安全講習会は、日本赤十字社山形県支部の救急法指導員太田雄一郎氏より「熱中症対策について」の講演をお願いしました。内容については、熱中症の症状や予防策などの講話でしたが、すぐわかりやすい説明を受けました。今年度は例年になく猛暑日が続いていたことから、熱中症を予防するため、大変参考になる講話内容でした。これからは、自分の体調をよく観察しながら健康で病気などに負けず生活しなければならぬと強く感じたところです。

新任役員のご紹介

今年度は役員改選の年となり、6名の役員が新たに選出されました。

今回は、その新任役員の皆様から、①抱負②就業内容③趣味についてお伺いしました。



理事
(山形市福祉推進部長)
平吹 史成さん

- ①地域共生社会をけん引されている会員の皆様のご活躍は本当に素晴らしいことと思います。今後とも見習ってまいります。よろしくお願いたします。
- ③最近、健康のためジムで軽く筋トレした後サウナでくつろぐことが日課となっています。ビールが格別おいしくなります。



理事
(山形市都市振興公社)
常務理事
増子 俊昭さん

- ①定年延長といった社会の変化のなかで、シルバー人材センターへの期待と役割は一層大きく、会員の皆さまと一緒にがんばってまいります。
- ③健康づくりの一環として、毎日の日課になっている愛犬との散歩が運動不足の解消につながっていると思います。



理事
原田 好雄さん

- ①役員としての役割を十分に理解し、職務に励み、センターの運営及び会員の皆さまのお役に立てるよう、精一杯努力して参ります。
- ②商品陳列業務
- ③趣味とまでは言えませんが、DIY全般で日曜大工的なものから車いじり等が好きで、色々と創意工夫して何でも自分でやっています。



理事
齋藤 隆さん

- ①働くを超え生きるを支える拠点の創造。会員の知識と人生訓、特技趣味、人脈を活かし、学び繋がり、やりたい事を形に出来る地域課題解決SC。
- ②カート整理業務
- ③老いて初心に帰るのは難しいが、今日は残りの人生の初日で最も若いのなら拙いもない。小説に絵に落語に映画作りに、残日をもがくも、生甲斐か。



理事
大友智恵子さん

- ①この度理事を拝命し、微力ながら皆様のお役に立てますよう精一杯務めさせていただきます。
- ②除草業務
- ③最近のマイブームは、齋藤一人さんです。納税日本一で、ちょっと？のお方ですが、ユーチューブで流れてくる話が面白いです。



監事
(山形市社会福祉事業団)
事務局次長
武田 吉浩さん

- ①超高齢社会を迎え、シルバー人材センターの役割はこれまで以上に大きくなっている中で、監事として適正な運営に貢献できるよう努めてまいります。
- ③時間があいた時には映画鑑賞するとともに、また日頃から歴史的建造物を巡ることを趣味としております。

安全パトロールを実施しました

安全就業推進委員会委員長 高橋 眞一

安全就業推進委員会では、毎年七月に「安全・適正就業強化

月間」の活動として、「安全パトロール」を実施しています。今年の夏は例年になく猛暑日が続き、熱中症の危険が非常に高まっていることから、屋外作業の除草や草刈り、剪定作業などの九か所を実施しました。

就業中の会員さんへ、安全保護具の着用徹底や緊急連絡カードの携帯確認、熱中症予防及び剪定などで使用する脚立からの落下や、虫刺され防止などの周知を行いました。

パトロールの結果、リーダーを中心に皆様しっかりと安全対策を講じた上、適宜休息を取るなど健康に配慮しながら



就業されていきました。特に、熱中症予防のためしっかりと水分補給したり、ハチなどに刺されないように十分注意するなど、自分の身を守りながらしっかりと作業に当たっておりました。

事業の実施内容

十月は事業普及啓発促進月間です。多彩な活動を実施します。会員の皆様の積極的な参加とご協力をお願いいたします。

十月は事業普及啓発促進月間です — 地域活動の推進に取組む —

①普及啓発活動とセンター会員加入の働きかけ

・役職員や専門部会員による街頭啓発活動
(十月三十日 イオン山形南店・山形北店)

・商工会議所や企業回りによる会員募集活動
・公民館等へのリーフレット設置
(入会の勧誘、仕事の依頼の周知)

・センター紹介動画の活用促進
(入会説明会やホームページで活用中)

・Webでの入会システムの普及促進

②社会奉仕活動の実施

・会員による街路清掃活動
(十月二十二日 山形駅西口付近)

・各地区研修会場等の清掃等社会奉仕活動

③会員と市民が交流するシルバーフェアの開催
(十月六日～七日 山形テルサ大会議室)での活動風景パネルの展示

④様々なメディアを活用した広報活動
・デジタルサイネージによる広告放映・チラシ設置
(イオン山形南店・山形市役所)

・「広報やまがた」に、入会説明会等の広告掲載

・「やましん医療ガイド」、新聞、フリーペーパー、各種イベントプログラム等への広告掲載

全シ協理事・東北シ連協会長・県連合会会長へ齋藤理事長就任



私ども山形市シルバー人材センターの齋藤武弘理事長が、去る六月十六日に開催された山形県シルバー人材センター連合会総会において会長に就任されました。また、山形市で六月十九日に行われた東北シルバー人材センター連絡協議会定時総会にて会長に就任され、六月二十四日には東京で開



県議会議長へ要望書を提出

催された全国シルバー人材センター事業協会定時総会において理事に就任されました。私たちが会員にとっても誇らしく、喜ばしいかぎりです。ご多忙を極める日々ですが、お体をご自愛いただきながら、益々私どもを導いていただきますようお願い申し上げます。

令和7年度 全シ協「安全就業シルバー人材センター優秀賞」受賞

去る六月二十四日、東京で開催された全国シルバー人材センター事業協会定時総会の席上で、当センターに対し「安全就業シルバー人材センター優秀賞」が授与されました。全国で十四の団体に對し贈られたものです。当センターとしてはこれで三度目の全国表彰となります。今後安全就業になお一層努め、油断なく安全に業務を進めていきたいものです。



定年後のライフスタイル



鈴木二地区
遠藤 茂

私は、六十歳の定年まで公安関係のいわゆる宮使いの仕事でしたが、定年後は、世界が一変しました。

妻から「お父さん薪ストーブのあるリビングってイイよね。作って。」との提案。

私もそれもありかなと思いい、退職金と少しばかりの蓄えを放

出して家を建て替えることになり、二人で考え抜いた間取りの小さな家が翌年完成した。もちろん、リビングの一角に特大の薪ストーブが鎮座と相成りました。

良いところは、暖かさが炎となつて見えること。薪ストーブは炎が揺らぎ、時々「パチパチ」と音を出して暖かくしてくれます。

エアコンや石油ストーブのような送風音はしません。もちろん電気代もいりません。

十月から四月までの半年間、薪ストーブ一台で家全体がポカポカです。焼き芋もできますよ。デメリットは、何と言っても薪



の確保が大変です。ホームセンターの薪では、毎日一万円分購入しても足りません。幸い当方は近所に庭師さんが数件いらして、無償で原木が入ります。それを自作した薪割機で割り薪ができます。

今は夏場でイメージしにくいですが、薪ストーブの前にドンと座り、雪の積もった庭を見ながら飲むインスタントコーヒーは、格別ですよ。至福のひと時です。いかがですか。



鈴木二地区
橋本 雄司

シルバー人材センターの会員となり、自転車再生班で就労してまる三年になろうとしています。これも何かしら運命なのか、あの日入会説明会に足を運び、当日、就業依頼活動を行ったこ

とで、希望する仕事と即マッチング、とんとん拍子で事の運びとなりました。まず行動を起こしたことが善因善果になったと安堵しております。

さて、わが自転車再生班の個性豊かな仲間たちとは、善き縁に恵まれたものと常々思っておりますが、この「縁」という言葉は、人との繋がりや物事の関わりという意味で、とても東洋的な思考であります。

縁には「ふち」、「へり」という意味もありますが、伝統的な日本の家屋にある縁側という言葉を考えてみよう。魚のエンガワに由来の言葉のようですが、この縁側で、家族、近所の人、或いは知人とのコミュニケーションの場として活用しており、楽しく集まる場所という意味合いもあつたようです。個人主義の強い西洋社会の概念では、お互いを支えあう関係の「縁」の文化を理解することは難しいこ



つながり

多員の

健康・趣味

とでしよう。とは言え近年は、住宅の狭小化、洋風化と共に和室の減少、エアコンの普及で快適さを得、縁側が必要とされなくなり、隣同士でもお付き合いが希薄となってきました。地縁が遠くなってきたのです。

人生で運命だと思っただけで出会った人でも、少しでも時期や場所が違っていたら出会うこともなかったろう。現在の自分とは、過去の自分が紆余曲折を経て運命を切り開いてきたものだと思います。実は様々な偶

然の「縁」の連続で成り立ってきたのではないだろうか。そう考えれば、自分の周りの人たちや環境（境遇）も何かのご縁と捉え感謝する心が大切となります。まさに、「縁に気づいて、縁を生かす」

皆さんの良縁成就を願っております。

私の趣味



第一地区
三橋美和子

数十年前は、夏は登山（アラスカまで遠征したり）冬はスキーを趣味にしていました。

ここ数年は体力的に無理かな

とあきらめていましたが、同じ職場の方から登山を楽しんでいる写真を見せてもらっているうちに、私も、ちよつとだけ挑戦してみようかと思うようになりました。

ハードルが高く実現するかどうか微妙ですが、とりあえず一日一時間程度、平地を歩くことから始めています。

もうひとつの趣味が、これもごぶさたしていた洋服作りです。

生地を選び、製図をして簡単なものから作り始めました。今はユーチューブからでも学べるので、とても助かっています。

新しいものを作るだけではなく、サイズが合わなくなってしまうたり、好みが変わってしまった洋服たちをどうリメイクするか、あれこれ考える時間が至福のひとつです。

老眼鏡では足りずに、ルーペのお世話になったり、失敗作もあつたりと、思うようにいかな事も多々ありますが、これからも大切な趣味として続けていきたいと思っています。

俳句と短歌



エステルわか子

酔んだくれて夜露枕に山頭火
眉月に君を重ねし萩揺れて
実るほど頭を垂るる稲の穂に
我が心根の高ぶり恥じて



第四地区
志鎌 久子

駅西のボランティア前にラジオ体操
覚へし頃に身体戻す
シルバーの仕事に一息着きし時
芋煮の大鍋対岸に見ゆ
大臣の米の安価に気を良くし
茶碗二杯のおかず半分



西地区

細谷 孝司

消えた「ひょうたん池」

七日町の「御殿堰」がリメイクされると、にわかには山形五堰の人氣が高まり、取水源となる馬見ヶ崎川も注目されるようになる。いずれも本稿の定番だが、定法どおり副題の水脈を辿ることにした。文脈が枯れない程度に先輩諸氏の説話と重なる部分は、ご容赦願いたい。

馬見ヶ崎川は恵みの生命線として扇状地を成すが、しばしば荒ぶる「天井川」でもあった。この氾濫から霞城壕を守るため、寛永元年（一六二四）、時の城主鳥居忠政が流路変更工事に着手する。現在の旅籠町（旧県庁附近）を通り、江俣で二分し、一つは中野、もう一方は鮎洗から須川に注いだ川筋を、小白川附近から双月、沖の原方面に向けた。このため、残った川跡を用水路とするようになった



往時の江俣沼（江南 田中秋廣氏所蔵）

のが、五堰の一つ、八ヶ郷堰である。

即ち、かんがい用水として利用した集落部、江俣・陣場・内表・陣場新田・吉野宿・鮎洗・船町・中野の八ヶ村がその名の由来である。

五堰の他、暴れ川の余韻が伏流域の湧水・沼池となり、人心と大地を潤した。寒河江街道と左沢線に囲まれた南江俣地区（現江南）に清江、清水といった町名があったのもその面影であろう。この低湿な地域に江俣沼があり、近隣の憩いの場として「ひょうたん池」と称されるようになった。沼を落水し消防



現在の南江俣公園

団総出で巻網による鯉の捕獲が行われる。その後一般に開放し、部落あげてのお祭りになる。「江俣沼の鯉あげ」と呼ばれるものであり、小生も幼少の頃記憶している。

時代が下り、「ひょうたん池」は埋め立てられ、現在は南江俣公園（江南三丁目）に姿を変えた。今はわずかな水場が名残をとどめている。ことほど左様に、市街地も近郊も開発が進むが、皮肉にも人口減少に歯止めが掛からない。悠久のロマンもやがては風化し、失われた原風景はセピア色の彼方・・・。

大郷地区

岩松 堅一

現在の大郷小学校敷地内にあったとされる中野城は、山形城の支城として山形城主三代最上満直の次男満基が築城した平城である。

その東北には、後の山形城主義定公を祀る中野にある雲祥院はじめ重要な寺院が数多く配置されている。中野の地は、戦略上・経済上のみならず水運交通上からも重要な地点であったと言われている。しかも中野城からは山形城主四人を送り出すなど最上一族中最も密接な関係にある。

その後、山形城主最上義光の時代に入ると、中野城主義時との家督争いから不和となり、百四十年間続いた中野城は崩壊。

義光公は中野にあった宝光院を山形市鉄砲町に移すと同時に、山王尊日枝神社の秘仏やその他一切を移し、新たな社殿を

建て尊崇した。

明治三十九年、中野住民一同は見るにしのびず、宝光院に交渉の結果、山王尊権現像並びに山王七社を譲り受け、宝蔵庫を設け本尊が安置されている。

現在はそのらを引き継ぎ、毎年五月三日には、春祭りの神輿行列が賑やかに開催されている。地区民からは「昔ながらのこの祭り行事をこれからも末永く続けてほしい」という要望も出ている。また、来年は神社創立千二百年を迎えるにあたり、盛大な神輿祭りになることを楽しみにしている。



神輿行列の獅子舞

新入会員紹介

東沢地区	飯塚・榎沢地区	千歳地区	鈴川三地区	鈴川二地区	第十地区	第八地区	西地区	第六地区	第四地区	第三地区	第二地区
山川文雄	須藤弘	鈴木直人	村形美喜子	佐藤伸人	倉持宏幸	渡邊恵子	清川俊貴	八巻忠浩	富士利明	大川原卓文	長岡好子
				太田眞一	長岡俊彦	佐藤篤子	関谷安明	岡田浩一	大山哲夫	細谷浩之	滝山一地区
											東沢地区
											滝山一地区
											藤原和枝
											小笠原啓子
											茂木順子
											古川義孝
											滝山二地区
											小倉敏美
											出羽・明治地区
											近藤真知子
											佐藤千代子
											金井地区
											後藤美淑
											大郷地区
											柴田礼子
											山寺・高瀬地区
											武田信雄
											蔵王地区
											石山定好
											内山卓範
											本間正雄
											本間宣子
											南山形・本沢地区
											山口道彦
											南沼原地区
											稲毛広
											松田由紀子
											高橋尚武
											西部地区
											大谷小八
											大宮信男

事務局からのお知らせ

（社）山形市シルバー人材センター

山形市双葉町一丁目二番二号
電話（〇三三）六四七二・六六四七

今後の行事予定

十月

- 文化祭 (六日～七日)
- 創作品展示頒布会・バザー (文化祭会場にて)
- 事業所訪問 (十五日)
- 芋煮会 (十七日)
- 清掃奉仕活動 (二十二日)
- (山形駅西地区)
- 街頭啓発活動 (三十日)
- (イオン山形北・南)

十一月

- 事業所訪問 (五日)
- ブロック研修会(十～十一日)
- 地区班長と理事との意見交換会 (十四日)
- 安全パトロール (時期未定)

十二月

- 職班リーダーと理事との意見交換会 (一日～二日)
- 世話役会 (二十五日)

行事イベント案内

創作品展示頒布会・バザー開催

日時：十月六日(月)～

七日(火)

場所：山形テルサ一階

(互助会文化祭会場にて)

創作品の売り上げは配分金としてお支払いし、バザーの売り上げは山形学園へ寄付します。

男性・女性会員とも是非ご協力をよろしくお願ひします。

地区研修会に参加しましょう

今年度も各地区で開催されます。地区の会員同士での意見交換の場として、年一回の貴重な機会です。

お仕事の日と重なる場合は同じ職場内で融通し合うなど、積極的にご参加下さるようお願いいたします。

※地区研修会では、女性部会で行うタオル寄付の受付もさるようお願いいたします。

お知らせとお願い



配分金支払日

- 十月二十日(月)
- 十一月二十日(木)
- 十二月十九日(金)

入会説明会(午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いします。

十月二日(木) 九日(木)

二十四日(金)

十一月六日(木) 十三日(木)

十八日(火) 二十七日(木)

※十一月二十七日(木)は女性限定説明会です。

十二月四日(木) 十一日(木)

十八日(木)

就業相談日(午後一時三十分)

(就業に関する相談です)

十月八日(水)

十一月十二日(水)

十二月十日(水)

※就業相談の受付は午後一時十五分からです。予約等はできませんのでご了承ください。

あとがき

初夏の六月には、我が広報部も三名の先輩方が大きな功績を残されて卒業され、新たに三名の仲間を迎えました。新体制による初の企画から編集までの作業を猛暑の中進め、ようやく第一六〇号が完成しました。

お忙しい中、原稿をお寄せいただいた会員の皆様方、お世話いただいた事務局の方々、お読みいただく会員の方々、心から感謝申し上げます。

これから文化の秋、スポーツの秋、食欲の秋、芸術の秋、読書の秋、…。皆様にとって充実した秋になりますように！

(J・K)